

令和3年度 船形の郷 福祉サービス評価(自己評価)是正・改善結果

		自己評価			改善・是正計画	いつまでに	改善結果
	項 目	総合評価	改善項目	課 題			
1	理念・基本方針 (1)	Aー1 Bー Cー 項目数 1項目					
2	経営状況の把握 (2～3)	Aー2 Bー Cー 項目数 2項目					
3	事業計画の策定 (4～7)	Aー4 Bー Cー 項目数 4項目	7	【とがくら:B】 コロナ禍において育成会総会等が中止になっており、家族への説明が不十分です。	【とがくら】 事業計画等について、広報誌などに掲載して送付します。	12月	【とがくら】 コロナ禍において総会等が出来ないため、行事予定等を広報誌へ掲載しています。 また、家族へ定期的に生活状況等を、写真等で様子をお伝えしております。
4	福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組 (8～9)	Aー2 Bー Cー 項目数 2項目					
5	施設長の責任とリーダーシップ (10～13)	Aー4 Bー Cー 項目数 4項目					
6	福祉人材の確保・育成 (14～20)	Aー5 Bー2 Cー 項目数 7項目	14	【事務管:B】 法人として人材育成方針は定まっているものの、人材確保計画の策定までには至っていません。	【事務管】 人材確保計画の策定までには至っていないものの、法人内の採用状況も考慮し、引続き指定管理上の配置職員が充足されるよう、法人事務局へ働きかけていきます。	12月	【事務管】 法人の職員採用状況から指定管理上の職員配置までにはいたりませんでした。今後も引続き配置職員の充足を法人事務局へ働きかけていきます。
			15	【事務管:B】 所属間の異動については法人事務局により管理されている。また、人事基準の周知には至っていない状況であることもあり、全職員が将来を見据えた仕組みは確立されていません。	【事務管】 法人より周知可能な人事基準が示された際には速やかに職員へ周知を図ります。		【事務管】 令和4年度に関する人事異動実施要項の規定が示されたことから、職員へ周知して人事の目的等に対する情報共有を図ることができました。
			15	【まつくら:B】 ①法人として職員に何を期待されているのかの職員像が明確かと言えばそうではありません。 ②人事基準(採用・配置・移動・昇進・昇格)が明確に出されていません。 ③自ら将来像を描く事が出来るような仕組みとまではなっていません。	【まつくら】 ①③役職か職域毎に研修への参加が行われるように計画していきます。 ・②③法人に人事基準の明確化や将来像の仕組み作りの要望を上げていきます。		【まつくら】 ①③各職員の研修参加が計画的に行われていました。 ②令和4年度の宮城県社会福祉協議会人事異動実施要項が配布されたことで明確化となりました。 ③自ら将来像が描けることが出来る仕組みとまでは出来ていないので、引き続き要望を上げていきます。
			17	【まつくら:B】 ①職員一人一人の目標設定は、目標(項目・水準・期限)が明確にされていません。 ②職員一人一人の設定目標が明確ではありません。面接時には進捗状況の確認が行われています。 ③職員一人一人の設定された目標について、当初・年度末確認が明確に行われているわけではありません。	【まつくら】 ①②年間の研修計画から、職員一人一人の目標を打診し、目標達成となる研修に参加出来るようにヒアリングしていきます。 ②③課題の解消に努めます。 ・ヒアリング(期末手当て)の際に職員の目標設定について意見交換をします。 必要に応じて法人本部と連携し、評価・見直しのできるソフト導入等について提案します。		【まつくら】 ①②年間の研修計画及び他団体主催の研修の中から受講が必要と思われる研修への参加について配慮いただきました。 ②③ヒアリングにおいては12月中にヒアリングを実施し、職員の目標設定についての意見交換で確認を行う予定です。
			14	【なでくら:B】 現在病休者2名(内8月退職1名)で欠員の補充がされていません。今後新規作業の構築などもあり減員となった分の補充が望まれます。	【なでくら】 人材確保に当たっては事務局と事業所の連携が必要と思われます。		【なでくら】 改善出来ませんでした。欠員の募集はかけているが集まらない状況です。今後も継続し、募集を募っていただきます。
			14～17	【とがくら:B】 人材育成方針は定まっているが、適切な人員配置ができておらず、人材確保・育成・定着が課題となっています。また、魅力ある職場、働きやすい職場について取り組みが不十分です。	【とがくら】 人員配置、人材確保を法人本部に要望していきます。 研修計画については研修委員会を通して行っていきます。 年休取得について声を掛け合い取りやすい環境をつくります。		【とがくら】 人員配置については要望を継続していきます。 研修については法人の研修等へ積極的に参加しています。年休取得等本人の意向に沿うように、法定年休をクリアできるように努めました。
			14	【かまくら:B】 法人としては採用活動は実施していますが、人材確保(有資格者等)について不十分です。	【かまくら】 各ユニット会議や職員会議等で人員不足の状況を再確認し、計画に基づいた人材確保がされるように法人へ要望していきます。		【かまくら】 現状では人員不足の状態が続いている為、適正な人材確保がされるように、引き続き法人へ要望していきます。
			15	【かまくら:B】 人事の基準が明確でなく、職員への周知も不十分です。	【かまくら】 人事基準が明確化され職員に周知されるよう法人へ要望していきます。また、人材育成の基本方針等も職員へ周知を図ります。		【かまくら】 現状では人事基準が明確化されていない為、職員へ周知されるよう、引き続き法人へ要望していきます。人材育成の基本方針については、研修の際に職員への周知を図っています。
			14	【おおくら:B】 適切な人員配置ができておらず、職員募集はしているものの人材確保ができていません。	【おおくら】 人材確保を所に要望していきます。		【おおくら】 人員不足の状態が続いており、充足されるように要望していますが、完全に充足されるまでに至りませんでした。
			15	【おおくら:B】 人事基準や総合的な仕組みまでには、至っていません。	【おおくら】 明確な基準を要望していきます。		【おおくら】 人事異動実施要項の規定が示されました。
7	運営の透明性の確保 (21～22)	Aー2 Bー Cー 項目数 2項目					

8	地域との交流、地域貢献 (23～27)	Aー5 Bー Cー 項目数 5項目	26 25, 27 27	【事務管(地域):B】 福祉セミナーの開催やボランティアの受け入れ、防災訓練への地域住民の参加等実施しています。また、以前はグラウンドや体育館の開放、施設機能を地域の方に利用してもらっていました(建替え、コロナ禍で見合わせ中)。支援を必要とする地域住民のためのサークル活動や地域ニーズに応じ住民が自由に参加できる多様な支援活動には至っていません。 【とがくら】 短期入所受入れは出来ているが、コロナ禍において地域や学校等の交流行事が中止になっており、ボランティア等の受け入れは出来ていません。 【かまくら:B】 関係機関、団体との連絡・調整・会議等により、地域の福祉ニーズの把握を行っているが、福祉ニーズに基づいた地域貢献や活動等は十分に行われていません。	【事務管(地域)】 地域の関係諸団体との情報交換を進め、具体的な活用につながるような場づくりを推進します。 【とがくら】 コロナの状況をみながら、地域移行推進部と連携をとり、今後検討していきます。 【かまくら】 関係機関との情報交換会等を継続して実施し、地域のニーズの把握に努めながら、地域貢献や活動につなげていきます。	12月	【事務管(地域)】 コロナ禍の影響及び施設建替の影響もあり、一部活動の支援となっています。今後のコロナ感染動向及び施設建替状況等をふまえ、住民参加活動の推進を図ってまいります。 【とがくら】 地域移行推進部から情報収集し、短期入所等の受け入れを行っています。 【かまくら】 関係機関への連絡等は行っているものの、コロナ禍の為、情報交換の開催は出来ていない状況ではあるが、情報収集の準備等を行いながら、関係機関との情報交換会等は継続し、地域貢献や活動につなげていきます。
9	利用者本位の福祉サービス (28～39)	Aー12 Bー Cー 項目数 12項目	35	【かまくら:B】 日常生活の場面や懇談会などで相談や意見を聞く機会は設けていますが、利用者に分かりやすく説明した文章については不十分な部分があります。	【かまくら】 利用者へ伝わりやすいようにふりがなや挿絵等を使用した文章を改めて作成し、周知を図ります。	12月	【かまくら】 年間計画の予定(行事等)についての文章に挿絵を付け加え、見た目で理解出来るように工夫した文章を作成して、利用者への周知を図っています。
10	福祉サービスの質の確保 (40～45)	Aー6 Bー Cー 項目数 6項目					
11	利用者の尊重と権利擁護 (46～47)	Aー2 Bー Cー 項目数 2項目					
12	生活支援 (48～60)	Aー13 Bー Cー 項目数 13項目	58	【とがくら:B】 コロナ禍で県の緊急事態宣言や蔓延防止期間があり、高齢の方が多くコロナウイルス感染予防対策の為、外出等を制限していました。 【かまくら:B】 コロナ禍により感染症対策を行いながら外出は行っていますが、地域のイベント等への参加は自粛している為、社会学習の機会は減っています。	【とがくら】 コロナワクチンを接種し、新規感染者も減少してきていることで、感染対策を引き続き行いながら、町内での買い物、ドライブ外出等を起案していきます。 【かまくら】 感染対策を行いながらコンビニ外出やドライブ外出等を継続して行い、社会資源等の情報を地図や写真等を利用し、分かりやすく情報提供していきます。	12月	【とがくら】 緊急事態宣言解除後、ドライブ外出等実施しています。 【かまくら】 ドライブやコンビニ外出等、感染症対策を行いながら継続し実施しています。情報提供については、地図や写真等を使用した掲示物を作成しており、今後も利用者の必要とする情報を随時加えていきます。
13	発達支援 (61)	非該当 項目数 1項目					
14	就労支援 (62～64)	非該当(まつくらセンター以外) Aー3 Bー Cー 項目数 3項目					
合 計		A — 61 B — 2 C — 0 非該当 — 1					